

# 百里基地対策特別委員会 会議録

令和4年12月8日(木)午後3時25分  
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

# 百里基地対策特別委員会

令和4年12月8日（木）午後3時25分  
小美玉市役所3階 議会委員会室

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 執行部あいさつ

## 4 協議事項

### （1）基地対策に係る要望活動について

①百里基地に対する申し入れ

②防衛省北関東防衛局陳情

### （2）百里基地からの情報提供

①基地隊員の新型コロナウイルス感染状況

### （3）その他

## 5 閉 会

出席委員（7名）

2番	真家 功 君	3番	戸田 見良 君（副委員長）
4番	香取 憲一 君	7番	植木 弘子 君
10番	石井 旭 君（委員長）	12番	長島 幸男 君
15番	小川 賢治 君	19番	荒川 一秀 君（議長）

欠席委員（3名）

13番	岩本 好夫 君	16番	田村 昌男 君
18番	市村 文男 君		

---

付託案件説明のため出席した者

市長	島田 幸三 君	副市長	岡野 英孝 君
都市建設部長	小島 謙一 君	基地対策課長	菅 具 隆 君
基地対策係長	真家 広幸 君		

---

議会事務局職員出席者

書記 菅 澤 富美江

午後 3時25分 開会

○副委員長（戸田見良君） ただいまから、百里基地対策特別委員会を開催いたします。

委員長挨拶石井委員長お願いいたします。

○委員長（石井 旭君） 本会議に続きまして大変お疲れのところご苦労さまでございます。

百里基地対策特別委員会ということで、協議事項につきましてはご覧の通り、百里基地に係る要望活動について、また百里基地からの情報提供ということもありましたので、いろいろと職員にもご苦労かけますが、委員の皆様もご意見を聞いて、また今後の対応と、コロナもありまして皆さんが行けないところでもありますので、ひとつよろしく申し上げます。また、3年ぶりに百里基地で航空祭が開催され、4万人にも及ぶ人が来た中で、多少混雑ありましたが、3年前からシャトルバスを石岡と大洗から出していることで、スムーズに入れればいかと思うんですが、役所の方に苦情等もきているかと思いますが、そういったことに対して、またいろいろ取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さんのご意見もあわせてお願いしたいと思います。それではどうぞよろしくをお願いいたします。

○副委員長（戸田見良君） ありがとうございます。続きまして、執行部挨拶、島田市長よろしくをお願いいたします。

○市長（島田幸三君） ご苦労様です。百里基地対策特別委員会ということで、一般質問でもありましたとおり、特殊訓練等がありまして、委員の皆さんにはそれぞれご不安やいろいろ市民からのお問い合わせ等ありましたが、基地の方には、市の考え方といいますか、説明して、基地でも一部は市の要望を聞くということで対応してくれました。また委員長からもお話がございましたとおり、3年ぶりの航空祭ということで、私も周辺基地協力会の会長という立場で、共催側の立場で開催することができて、大変よかったと思っております。通常2日間に分けて行うところ、それを1日でやったということで、多少の渋滞はありましたが、関係者がそれぞれ努力していただいて、思ったほどの渋滞はなかったのかなと思っております。本日の委員会のご審議のほどよろしくをお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

○副委員長（戸田見良君） ありがとうございます。それでは、協議に入ります。協議の進行は石井委員長をお願いいたします。

○委員長（石井 旭君） 本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されています。準備はよろしいでしょうか。それでは早速議事に入ります。

はじめに、（1）基地対策に係る要望活動について、申し入れと陳情に対する回答ですの

で、①と②を続けて説明をお願いします。

菅具基地対策課長。

○**基地対策課長（菅具 隆君）** それでは私の方から説明をさせていただきます。基地対策に係る要望活動について、こちらは毎年行っております要望活動でありまして、本年は市長、市議会議長、百里基地対策特別委員会委員長にて、各所を訪問していただき、各機関の代表者との対談で要望をしてまいりました。要望先からはそれぞれ回答が出ておりますので、今回ご報告させていただきます。資料1になります。百里基地に対する申し入れですが、令和4年7月12日午前に百里基地を訪れ、基地周辺の騒音軽減に向けた改善策等に取り組むよう申入書を提出いたしました。申し入れの内容は前回の特別委員会にてご確認いただいておりますので、基地からの回答を主にご説明いたします。要望内容につきましては、これまでの記述形式を変えて、5つの事項に分けています。本日は、各項目の朗読説明は割愛させていただきますが、要望は、これまで同様に、訓練の騒音等による周辺住民の日常生活への影響を軽減、縮小するよう取り組んでいただきたいとするものです。これに対して、基地司令から、口頭による回答がありました。司令から冒頭には百里基地に対する理解協力に感謝する旨の挨拶があり、市民の百里基地に対する懸念や不安について、しっかりと配慮した部隊運営を心がけることが約束され、同時に、隊員の練度、技量の維持向上と安全の確保、確実な任務遂行のための必要な訓練の実施について、ご理解いただきたいとあります。また、これまで同様に、通常外の訓練における事前の情報提供や必要な連絡、説明について言及されたほか、基地行事等の開催にあたっての対応について、関係機関等と連携を図っていくことでもございました。これらについて、毎月行われておりますAGG訓練や、休日飛行任務の予定情報については、これまでも速やかかつ周知期間を見据えた事前情報提供とした要望が反映されてきましたが、一部の訓練情報では、実施直前であることも事実でございます。今後とも、基地との連携を継続し、訓練の重要性も理解しつつ、周辺住民へ配慮した活動をしていただくよう申し入れを継続していくものといたします。また、先日の基地航空祭における事前協議を実施した周辺対策の結果等につきましては、開催終了直後もありまして、詳細情報、今現在収集しているところでございます。様々なご意見等や、今後改善すべき点は、基地と協議を進めて、今後生かすようにしてまいりたいと思います。

続きまして、資料2をご覧ください。2つ目、防衛省北関東防衛局の陳情についてになります。7月27日、さいたま市の防衛省北関東防衛局に出向き、百里基地に起因する障害等に対する諸施策及び措置等の周辺対策について陳情を行いました。当日は、防衛局長以下企画部

長並びに管理部長、その他各担当課長等の10数名が後席に控える中で、防衛局報道官の進行のもと実施されました。陳情の手渡しの後、要望事項について、防衛局の所管部長から口頭による回答がありました。回答詳細につきましては、後日に防衛局からデータ提供されたものを、今回資料といたしましたので、ご説明いたします。なお、この資料中の各要望事項は、省略記載としてございます。1つ目、百里飛行場の民間共用化に伴う地域振興策等については、市が飛行場エリアの観光産業の発展による地域振興策を進めるための茨城空港の路線拡大に係る特段の配慮、及び茨城空港が民間航空機として使用中の西側滑走路における自衛隊機の緊急使用の場合の騒音等影響への適切な処置について要望し、回答として、環境整備法に基づき、地元自治体等の意見を十分に伺い障害等に適切に対応していく。また、茨城空港民航機の着陸便数に関しては、要望を防衛省に申し伝える。さらに公園的施設整備事業には、今後具体的要望について真摯に対応していくとし、騒音影響につきましては、引き続き周辺の騒音状況の把握に努めて、適切に対処していくとあります。2つ目、防音事業関連維持事業につきましては、本関連工事を実施した教育施設等に対する維持費の安定的な補助の継続を要望しています。その回答は、引き続き予算確保に努めるとありますので、今後補助が続くものと判断してよいと思います。3住宅防音工事の助成については、騒音区域指定告示後の建物への対象拡大と機能復旧工事希望者への早期な対応、そして、市内常設の騒音測定器の設置場所を増やした正確な騒音実態の把握など4項目を要望しています。これらには、防衛局として、告示後住宅の防音工事は難しい財政状況もあるが、引き続き検討していく。防音工事着工までの期間短縮及び防音建具機能復旧工事については、施工業者の処理能力なども勘案しつつ、要望に沿えるよう予算確保して進めていくとあります。また、機能復旧工事での空調機器の10年経過を自動的に更新対象とすることにつきましては、事務手続き上必要な申請なしでは助成できないとのこと。工事対象とする騒音レベル75W未満の区域の取り扱い、将来の検討課題と考えていること。騒音測定器の増設は、今後同飛行場の配備機種の変更等による騒音状況の変化により検討と対応をすると、それぞれ回答があります。4移転の補償等については、区域指定の告示、これは昭和56年10月ですが、その建物も対象とし、申し出にはすでは速やかに買い入れできるようにすること。また、騒音の影響を受ける指定区域外の土地も騒音の実態を勘案した買い入れについて対応されたい、と要望しました。これに対して、環境整備法に基づき、区域指定時に所在した。それ以降に建替えられたものは、平成24年12月から採択要件に該当すれば補償等をすべく、要望に対する予算確保に努めている。なお、土地の買い入れは従来通り、第二種区域の所在地のみを対象としてい

る旨、ご理解いただきたいとなっております。5 障害防止対策事業及び民生安定施設整備事業については、本市の計画的な整備について要望に対する予算額を確保することとしまして、令和5年度の防衛省補助事業に2つの継続事業。新たに、佐才地区の道路改良事業を要望しています。この回答は、国も難しい財政状況にあるが、防衛施設の設置、運用に伴う障害の実態を踏まえ、令和5年度実施事業要望について本省に概算要求しており、引き続き事業の採択と予算確保に最大限努力していくという回答であります。6 特定防衛施設周辺整備調整交付金につきましては、交付金の増額と2次分交付の早期内示を要望しており、その回答は、法に基づき特定防衛施設の関連市町村に対して、年度ごとに施設面積や運用の実態等を総合的に判断し、運用の態様変更等を考慮しながら、適切に対応していく。また、交付時期は算定に一定の時間を要する旨、ご理解いただき、引き続き努力していくとなっております。7 農耕阻害損失補償については、1つに、損失補償の対象範囲を現在の飛行コースと整合させること。2つ目に、最低保障額の設定について制限見直しを図ることを要望しています。これに対して、防衛局は、損失補償の対象範囲等の変更は難しいとあり、補償の最低額の制度見直し等の関連規則に関することも本省に伝えているが、困難であることにご理解いただきたいという回答でございます。8 再編関連訓練移転等交付金については、交付金の安定的な額の継続及び2次分交付の早期内示を求めています。回答は、当交付金は平成29年度から交付しており、毎年一定額を交付する定額分と、訓練実施状況に応じた実績分として、実績分は当該年度の第2四半期までの訓練移転実施により算定し、予算の範囲内での交付とすることができる限り早期に交付するよう努力するので、これをご理解いただきたいとのことでもあります。9 関連機関への申し入れについてですが、百里基地の飛行及び運用については、先ほど説明いたしました基地への申し入れ内容と整合し、防衛省にも特段の措置を図るよう要望しております。要望項目それぞれの回答につきましては、基地はこれまでやむを得ない場合を除き、昼休み及び早朝夜間の時間体の飛行を自粛し、洋上空域で訓練するなど、皆様に配慮した運用に努めてきました。今般、改めて騒音や不安を感じさせる飛行の軽減に努めるようにする。また、基地に関する事件事故は、当然ながら、これまで同様に、速やかに情報提供をし、対応していく。今後も、航空祭等の開催には、周辺対策の実施について基地に申し伝えるとなっております。さらに、防衛省所管の行政財産、国の管理地の除草工事は、基地周辺の生活環境を保全するため定期的を実施しており、今後とも要望を踏まえつつ、適切に実施していくとあります。全体としまして、基地の円滑な運用には、周辺住民のご理解、ご協力が不可欠であり、可能な情報提供とともに、要望に真摯に向き合い、適切に対処すべく、

本省を通じ、航空幕僚監部や百里基地に申し伝えますとの回答であります。最後の項目、10 訓練移転に係る安全対策についてですが、米軍再編に係る百里基地への訓練移転において、日米共同訓練実施にあたっては、安全対策等を図ることなどを要望しております。この回答として、日米共同訓練期間中は現地対策本部を設置し、関係機関との連絡調整に当たる。航空機の十分な点検、綱紀粛正の徹底と、新型コロナウイルス感染拡大防止対策についても、米軍に要請し、訓練中の地域住民の方々と安全安心を確保する。さらに、情報提供は引き続き速やかに関係自治体に行っていくとしています。最後に、現在、米軍再編に係る百里基地への航空機訓練移転にティルトローター機、いわゆる V-22 オスプレイが参加する計画はないとなっております。この在日米軍の訓練移転は、昨年12月に3年半ぶりに実施されたのに続きまして、今年11月も戦闘機訓練が行われました。今回も訓練計画の公表には即時に周辺住民への周知を図っております。また、基地周辺5市町連絡会として、改めて安全対策に係る要請書を防衛局の現地対策本部へ提出しております。その際、防衛局は基地での訓練期間の米軍兵の規律の遵守等をしっかりと米軍へ申し伝えるとの回答でございます。現地対策本部としては、期間中の部隊間調整と各種連絡をし、周辺自治体への航空機着陸の情報を連日通知したほか、騒音測定器による騒音状況の把握等を行っていました。また、地元協議会の会長宅を訪問して、訓練中の対応について説明する等の配慮と訓練への理解協力を求めたようでございます。最終的に現地対策本部から訓練は予定した日程で無事に終了したことが報告されております。以上、大変長くなりましたが、基地対策に係る要望活動について報告、説明を終わります。

○委員長（石井 旭君） 説明が終わりました。これらについて、何かご意見ご要望等あればお願いいたします。

植木委員。

○9番（植木弘子君） 説明ありがとうございます。よろしくお願いたします。まず資料1につきましては百里基地サイドに（4）便数制限の緩和について特段のご配慮をお願いしたいという申し入れに対して、基地の方からそれに関する回答っていうのがちょっと読み取れなかったので、お答えいただけなかったのかなっていう部分と、資料2の方では同じような1番目に飛行機エリアの観光云々ということで、路線拡大に係る特段の配慮っていうことで同じように陳情っていうことを行っておりまして、それに対していただいた要望を、防衛本省に申し伝えると同時に公園的施設整備事業については今後具体的に要望があれば真摯に対応していくっていう文書での回答でありましたが、実際に現場に行くと、その点について

の反応とかってというのが、文言以外で伝わる部分があるならば、教えていただきたいと思います。

○委員長（石井 旭君） 小島部長。

○都市建設部長（小島謙一君） 植木委員のご質問にお答えいたします。1時間1便についての調整ですけれども、基本的には国土交通省、防衛省、百里基地3者間で調整されることと聞いております。今回、我々がこういった声を上げることによりまして、国土交通省と防衛省での協議再開の門戸を開いたと捉えておりまして、我々として県側の方に、早期に国土交通省に申し入れいたしまして、こういった便数制限の緩和について協議を始めてもらいたいといったような要望としたことになるかと思われまます。以上であります。

○委員長（石井 旭君） 植木委員。

○9番（植木弘子君） わかりました。ありがとうございます。私議員になってこの委員会に所属した時に毎年同じような要望陳情って意味があるのかなって1年生2年生のときに感じてしまったんですけども。本当に年数をやって、毎年毎年きちんと丁寧にしっかりと要望陳情していくことがいかに大切かというのを実際痛感しております。そういったことに繋がる部分には部長の方からもおっしゃっていただいたので、ちょっと頑張っていたきたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。以上です。

○委員長（石井 旭君） 他にございますか。真家委員。

○2番（真家功君） 百里基地の申し入れと北関東防衛局の申し入れについては、陳情書という形で持っていったんでしたよね。これ百里基地への申し入れも文書による申し入れで持っていったんですか。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） ただいまの質問ですが、百里基地へも文章によるもので提出してございます。なお、百里基地には申し入れ書、北関東防衛局には陳情書ということでございます。

○委員長（石井 旭君） 真家委員。

○2番（真家功君） 市の方からは申し入れ書と陳情書ということで、正式に文書で持って行ってってるわけですが、どちらも口頭回答なんではないでしょうか。例えば、文書で持って行ってらるんで、口頭ではなくてですね。回答書という形でもらえる方向にするべきだと私は思いますが、どうでしょうか。北関東防衛局はこれまでもずっと口頭だったかもしれませんが、百里基地に対して、申し入れ書をしてるのに、口頭だけでは、駄目じゃないかというふうに思

うのですが、そのあたりの対応について、どのように今後していくのかというので、要望兼ねて質問しています。お願いします。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） 委員からの2つ目の質問でございますが、百里基地への申し入れは、当初手渡しをした基地司令から口頭で返答があり、その後、百里基地に依頼申し出をして、指令の読み原稿としての回答を受けてございます。北関東防衛局からの回答も、陳情当日は口頭による説明でしたが、その後文章でいただいておりますが、どちらも公文書ということではないかと思っておりますので、今後その文書のあり方、やりとりについては、検討協議をしていかなければならないと感じております。

○委員長（石井 旭君） 他にありますか。長島委員。

○12番（長島幸男君） 私も議員になって10年ちょっとで、この百里基地対策にはずっと属しているんですが、その間にいろいろ全国の基地の方も視察して参りました。特に九州あたりにはいくつか基地があるんですよ。いろいろ聞いてみますと、九州には九州の局があって、それとは別に本省へも行っているんですよ。私も前もちょっとこの会議で話したんですが、小川町時代からそういう形でやってるっていうことなんです。実質的には九州からわざわざ本省まで来てるんだから、茨城県から東京へ何故行かないのかなっていうことで、お話ししたんですが、時間とって1日で行ってこられると思うんです。それから、真家委員からも話があったようにやっぱり文章での回答をもらった方がいいですよ。毎回同じようなことをやってるんですよ。この陳情の内容も多少は違うんですが、オスプレイが出てくると百里基地には絶対来ないで欲しいとか、そういうのがちょっと若干付け加えるだけで、あとはほぼ同じ。ここら辺をもう1回よく精査して、新たに検討した方がいいんじゃないかなと思うんです。以上、私の意見です。

○委員長（石井 旭君） 小島部長。

○都市建設部長（小島謙一君） 議員からのご質問に対しご答弁したいと思います。北関東防衛局を通じて、本省で要望が可能かどうかも含めて、またこの要望内容につきましても、時代には沿った内容に検討したいと思っております。以上になります。

○委員長（石井 旭君） 島田市長。

○市長（島田幸三君） 先だって、米軍再編6基地協議会で防衛省への中央要望のなかで各地区の課題などの話を受けてくれるということで、今回は新たにまちづくり構想がありまして、その要望とその後の維持管理費は、基本的に通常出ないんですけども、それを出るよう

に本省の方でよくご審議していただきたいということで、しっかりと要望について審議して、北関東防衛局の方に返事をするということで、良い返事もらったのかなということで、本省に行くのも大事なことで、これも今後独自で行くというのを考えていきたいと思えます。

○委員長（石井 旭君） 長島委員。

○12番（長島幸男君） 市長もそのようなお話ですから、今後よく検討していただいて、それでまた同じような話になるんですが、回答書は本省へ提出しましたとか、はっきりした返答をもらってないんで、だから、本省にいけば直接だからね。ぜひ検討をお願いしたい。

○委員長（石井 旭君） その他ございますか。ないようですので、続いて（2）の百里基地からの情報提供について説明をお願いいたします。菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） それでは、次の協議事項に移らせていただいて資料3になります。百里基地から情報提供のありました、隊員の新型コロナウイルス感染状況についてご説明いたします。この基地の感染状況には、昨年9月会期中の特別委員会におきまして、令和3年8月までの感染者等を報告しておりますので、それ以降直近について、基地からの情報提供をまとめました。表の中段からになります。新型コロナウイルスの感染拡大は、年明けから全国的に徐々に増加し、拡大は感染第6波と言われております。基地におきましても、年末年始の帰省もから、春の頃までの期間で、感染者数の横ばい状態が続いております。その後、一旦の落ち着きを見せたものの、ウイルスの変異株の出現とともに世界規模でこれまで以上の速さで感染が増大し、国内でも夏頃から感染第7波といわれるものが続いております。表の中の7月からの月毎の感染者数をご覧いただいても、基地隊員の感染人数が急激に増加していることが見て取れると思います。基地においては、これまでウイルス感染の要因としては、家庭内感染による単発のものがほとんどであるとしています。各自が感染判明によって、勤務をやめて、自宅療養することが徹底されたようで、その後の、組織内施設内の連鎖拡大による集団感染いわゆるクラスターは発生していないことを確認しております。なお、隊員といえども、予防ワクチンの優先接種はないらしく、居住する役所からの通知で自主的に医療機関等への予約と接種が行われているようでございます。引き続き、基地内でも感染予防を徹底していただいて、任務活動に支障のないようにしていただきたいということを担当の方に伝えているものでございます。以上です。

○委員長（石井 旭君） はい説明が終わりました。これについて何かご意見ご要望があればお願いをいたします。ないようですので、次の（3）その他に入ります。その他で皆さん

から何かありましたらお願いいたします。香取議員。

○4番(香取憲一君) 1点なんです、昨日の報道で、航空自衛隊が将来的に航空宇宙自衛隊に拡大組織改編されるだろうという報道がありまして、やはり首都圏に一番近いところなので、ここら辺はやっぱりちょっとアンテナも、やっぱり高く張って、組織改編がこれが百里基地に及ぶかどうかちょっとわかりませんが、いろんな面で防衛費も増額される中で、いろんな動きが大きく出てくると思うんですね。そこは先んじてアンテナを張っていた方が、いろんな意味でいいんじゃないかなと感じたので提供させていただきました。

○委員長(石井 旭君) 長島委員。

○12番(長島幸男君) 先ほど航空祭のお話が出てました。それで航空祭は12月4日でホームページにも出てまして、この日1日というようなことでずっと報道されてたんですが、急遽、前日に予行練習をやるから、入場したい方は連絡ほしいと、実質に連絡が来たのは、予行練習の4日ぐらい前なんだよね。他の区長さんが聞いたら全然回覧も何も回せなかったよ。一部の区長は、やってみたいですが、そこら辺は急遽そういうような話になったのは、どういう理由からか、ちょっとお聞きしたいんですが。

○委員長(石井 旭君) 小島部長。

○都市建設部長(小島謙一君) 市の方に連絡ありましたのは11月14日ですが、このときまでに、百里基地サイドでは今までの市民との交流が途絶えていたものがあつたので、これを機会に再開したい意向もあり、ちょっと直前となりまして、その配慮から、急遽決定になったものと推測されます。また今回やっぱり地域住民の方々に連絡ですとか、そういったものにつきましては、あらかじめ実施計画書なるものがあれば、そういったスケジュールに則って実施すべきものでございますので、今回こういったことを反省点といたしまして、基地側と連携を図りまして、あと公共交通機関とも連携も図りまして、実施計画の方、今回の反省点を作って、3者で共有を図っていきたいと思っております。

○委員長(石井 旭君) 長島委員。

○12番(長島幸男君) せっかく基地の方もその地域住民に対して、そういうような考えがあるならば、今部長言ったように連絡をもう少し早く、私らも近所の区長にも緊急じゃないかなって言うことで言われたんですよ。区長も慌てたんじゃないのかなと思います。そういうことでね、実質、私どもに手紙が着いたのが18日ですから、19日、20日の土日、21日までに返答をもらいたいというようなことで、真家係長にもどうということなんだって言うことで連絡したんで、とりあえず車の台数と人数だけ、報告していただきたいというようなお話

があったんですが。こういうこと言っても、もう終わってしまうってことです。部長の方で、それについてはせつかく地元住民っていうんだから、せめて2週間、20日ぐらい前にね、やっていたかかないとということをよくお話しておいてください。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） 私からもただいまのご質問について、12月4日というのは百里基地では、4月の年度当初から計画をしておりました。ただ、新型コロナウイルス感染拡大によってということで、ぎりぎりまでその決定判断を迷ったところがあるかと思います。同時に、小美玉市の担当課の方で、クリーン作戦を同日に計画しており、それを決定したということ、百里基地が察しまして、当日来られない周辺住民の方々及びその関係者について、前日の予行演習でもよければ、見学をどうぞということ、急遽決めたようでございますので、そこら辺でやはり期間が短かった、周知できなかったということがございます。これにつきましては、やはり市と基地とのスケジュール調整というものも今後関わって、重要なことかなと感じておりますので、今後に活かしていきたいと考えております。

○委員長（石井 旭君） はい、ありがとうございました。他にございますか。ないようであれば、私の方から2点お願いしたいんですが、航空祭にかかるとのことですが、まず1点目は、そ・ら・らの前、当日4日に通りました。そうすると、もうすでに駐車場がいっぱいになっておりました。これは寄ってもらえたりいいことかなと思いますが、その際、手前の臨時駐車場は閉められて、利用ができなくなっておりましたが、これは、今、近隣の人、これからも来ますが、例えばサービスしてあげるために開放するっていうことはできないんでしょうかね。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） 当初、航空祭開催にあたっては、関係機関等の事前調整会議を行いました。基地からの説明の中で、今回初めて車両入場は全て裏門からの進入、正門からは歩行者のみということで、歩行者と車両を区分けするような対策。さらに、前回の反省点を踏まえて、茨城空港利用者に迷惑をかけてはいけない。そこに渋滞を起こしてはいけないという配慮から、そちらの案内を回避した誘導地図を作成していただいております。調整会議の中で、やはりそ・ら・ら駐車場が、見物来場者のために埋まってしまっているということがあって、臨時駐車場の開放なんかも協議されましたが、そうすることによって、空港線そのものに車両が集中してしまうのではないかとということから、今回は、その臨時駐車場の開放を見合わせたという経緯はございます。

○委員長（石井 旭君） なるほどわかりました。2つ目ですが、前回初めてシャトルバスが私たち基地対策から要望して始まったんですが、前はブルーインパルスは来なかったんで、かなりスムーズに入って、地元の方からは本当に航空祭やるのっていうぐらい混まなかった。今回はブルーインパルスが来て、関東ではここ百里だけだったこともあって、かなり来ました。そういう中で、入りの時もそうですが、帰りのシャトルバスで、前回は、その時もやっぱり帰り、石岡駅から来る方が多くて、そちらもかなり長蛇の列で今回もすごい列になっていました。ただ、大洗からの利用はさほど列はできていますがそのわりです。大洗の駐車場は無料でありまして、空いているので、なるべくそちらを利用してほしいとホームページに載っていたみたいですが、実際には石岡ばかり使ってる感じはしましたので、もう少し周知をお願いできればと思ひまして、要望しますので、お願いいたします。他にございませんか。植木委員。

○9番（植木弘子君） 今回の委員長の要望にかかる部分になりますが、今回石岡市で6号国道周辺かなり市内外の人たちからも、石岡で動けないっていうご連絡いただきました。実際に石岡市の方から何かそういったもので、こっちには連絡来てないですよ。百里基地のに行ったのかな。実際、本当今石井委員長が言ったように石岡駅を利用することによって、今回逆に石岡市内が混雑してしまったっていう現状を知っていただきたくて付け加えさせていただきます。以上です。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） ただいまのご要望というか確認のことに関しましては、百里基地航空祭に当たりましては、担当課の方には、事前の予行演習の始まった11月22日に騒音に関する苦情が2件入っております。また当日にも、騒音の苦情が1件、全部で3件ということがございます。また、本来ですと、航空祭開催にあたっては、交通規制の周知があるべきだというようなお叱りの声もいただいております。百里基地12月4日ということで、同日開催には、宮崎県の新田原基地にも同じ航空祭が開催されておまして、今回の入場者数、百里基地からは約4万人と聞いております。同日、ブルーインパルスが飛ばなかった新田原基地は2万5,000人という数字でございます。毎年人気イベントということで、千歳基地や埼玉県の入間基地、青森県の三沢基地だと、それぞれ千歳が4万6,000人、三沢が3万5,000人ということで、最新鋭の配備のF-35戦闘機が機動飛行をされたものということでございます。中には岐阜県にある岐阜基地というものも、3万5,000人を限定で、事前応募ということでの、航空祭開催というそういう手法もあることを、今後、参考として、周辺渋滞

の緩和も含めて、基地と協議を進めながら、よりよい形で開催できればと考えております。  
以上です。

○**委員長（石井 旭君）** はい、ありがとうございました。今回、前回と比べて基地周辺への道路に入られないような対策をすばらしくされていたので、苦情もあまり何件もなかったと私も思います。今後も課長から話があったように、いろいろ他で開催しているところを参考にしながら、ファンもいますし、やはり小美玉に来てもらうのも大事だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それではないようですので、協議を終了いたします。副委員長と交代します。

○**副委員長（戸田見良君）** 皆さまお疲れ様でした。それでは、以上で百里基地対策特別委員会を閉会いたします。

午後 4時12分 閉会